

## 代表質問

## 今後の100年を見据えたまちづくり



公明党議員  
三宅 智加子 議員

## 子ども議会を終えての所感

**問** 大牟田の未来を担う子供達による子ども議会を終えた市長の所感を聞きたい。

**答** これからの大牟田のまちづくりをテーマに、生徒たちが自らの考えと言葉で質問や提案を考えてくれた。

環境、福祉、防災、観光など日頃から学んでいるESD（持続可能な開発のための教育）の視点を踏まえ、私たちも真剣に答弁を考え、本会議と同じ気持ちで臨んだ。



子ども議会

## シティプロモーション戦略

**問** シティプロモーション戦略が目指すものを聞きたい。

**答** シティプロモーション活動を通して、市民の大牟田への愛着と誇りの醸成、市外から見た大牟田のイメージと知

名度の向上を図り、交流人口の増加、さらに移住・定住人口の増加につなげたい。

**問** シティプロモーションを推進するに当たっての市役所内の目標の共有化の取り組みを聞きたい。

**答** シティプロモーションを進める上で推進室だけが取り組むのではなく、全職員が同じ目標を持つことが非常に重要と考える。戦略策定の過程で管理職を対象とした研修会では、意義について情報を共有化し、策定後は全職員を対象とした研修会で目標の共有化と職員向けに策定したガイドラインの周知を図った。

**問** 交流人口や移住・定住を推進するためには、まず認知度を上げることが大切であると思うが、3月1日に誕生したジャー坊の活動とゆるキャラグランプリ2017の取り組み状況について聞きたい。

**答** 4月のジャー坊議会では、特別住民登録と大牟田わくわく隊長の任命を受けた。ジャー坊の活用には、イラストの活用とジャー坊本人のイベントへの派遣の2種類がある。

現在、参加しているゆるキャラグランプリの順位が伸び悩み、商工会議所の皆さんとともに上位に押し上げようと選挙対策本部をつくり、1日1万票獲得を目標としている。

**再発言** ジャー坊の活躍を推進するために、大牟田市動物園のようなサポーター制度を取り入れるなど創意工夫をしていただきたい。

## 保健福祉部の機構改革

**問** 保健福祉部の機構改革に至った目的について聞きたい。

**答** これまで障害、高齢、生活困窮など複合的な課題への支援は、単独の相談機関では十分な対応ができず調整に時間もかかった。このため健康長寿支援課を設置し、総合相談窓口により複合的な福祉ニーズにも対応することとした。

## 学童保育所の拡充

**問** 待機児童解消については、市議会からの要望に対して手鎌小学校の第2学童保育所の設置や民間事業者への補助事業などに取り組まれている。

それでもなお待機児童が生じている小学校の今後の対応について聞きたい。

**答** 平成30年度に向けては、吉野校区に第2学童クラブの開所、白川校区では支援単位の見直しで定員をふやすための協議を行っている。

**再発言** 議会報告会で天の原校区の待機児童について心配する意見があった。荒尾市のように保育園や幼稚園、障害者交流拠点を活用した設置も考えられるのではないかと聞きたい。

地域、実情に応じた学童保育所の設置を進められたい。